

第3回教育委員会定例会議録

開催日時 令和8年6月23日（火）

出席者 （教育委員）

（事務局）

教育長職務代理者 渡辺 幸良

教育長 棚橋 剛

委員 大橋 香代子

教育課長 梅村 明広

委員 板屋 千都世

教育課課長補佐 中原 真奈美

委員 赤尾 徳雅

1. 開会 午後4時15分に開会

2. 前会の議事録の承認

3. 教育長より

（1）6月議会一般質問より（教育委員会関係）

- ・文化・自然体験事業のコンセプト等について
- ・小中学校のAEDについて：今後、各校2つずつ設置するようにしたい。
- ・異年齢教育について

各教科等の学習において、3以上の学年による異学年集団による学び合いを取り入れる小中学校を県が支援する。ノウハウ不足や教員の負担増が見込まれるが、先進校を視察して取組について学びたい。

- ・熱中症対策について：子どもたちにネッククーラーを使用させるため、各教室に冷凍庫を設置する提案があったが、現状では難しい。冷却タオルや日傘等で暑さ対策をしている。

（2）西濃教育長会より

- ・今年度は、62歳到達に伴う退職者が多くなる見込みで、来年度の教員不足が懸念されている。西濃地区では、役職定年後の管理職の7～8割が教諭・常勤講師として残留している。定年後も勤務を継続できる優秀な人材や定年退職者への積極的な声かけを継続する。
- ・教職員の働き方改革は進んでいる。時間外勤務は年々減少傾向にあり、年間30時間の目標達成の目安が見え始めている。一方で、時間外勤務時間が月80時間超となる教職員は十分には減っておらず、業務の偏りが課題である。
- ・気象情報について：防災気象情報の変更に伴い、安八町でも「警報発令時における休業等」を6月に改訂した。安全確保と学習機会のバランスをとることが求められている。
- ・部活動の校外活動時の安全管理について
- ・特別支援教育について：西濃地区は他地区より小学校での特別支援学級の割合が2%高く、低学年からの早期に対象化されているのではないかとの見方がある。この傾向を踏まえ、教育支援委員会のあり方や校内支援体制の見直しにつなげたい。

（3）6・7月の行事：6/26 西濃地区教委連絡協議会並びに教育委員研修会（関ヶ原）

7/17 臨時合同委員会

7/23 新任教育委員・教育長研修会 他

※ふれあいラジオ体操は今年度から実施しない。

(4) 教職員に関すること

- ・夏季休業中の学校の閉庁日（8/6～8/16）について委員からご意見をいただいた。
（板屋）教員の夏期休暇が6日間になったという理由で、教員になりたいという若者も増えるかもしれない。
- （赤尾）休みが取れるのであれば取っていただきたい。
- （大橋）学校の先生は夏季休業中しか なかなか休めない。休めるときに休んでいただければよい。
- （渡邊）よいと思う。大学でも9日間程ある。

4. 連絡報告事項

（梅村課長より）

- ・夏休み夜間パトロールの出発式について：7/17 19:00～中央公民館玄関
- ・小中学生文化・自然体験について：6/19 小学生説明会、6/30 中学生説明会の実施
9/17 報告会 委員の参加依頼
- ・小学校体育館空調整備：工事請負業者をHPに掲載して広く募集している。発注業者が決まってから日程を調整する。
- ・補正予算で、R8年度中に防犯カメラを結小に設置する。

（中原課長補佐より）

① 5月の生徒指導事案

- ・冷やかしかからかい、じゃれ合っているように見えても、いじめにつながる言動であることを見落とさないようにしたい。

② 5月の不登校の現状について

- ・5月後半から息切れを起こして欠席や遅刻が増え始めた。担任一人で抱え込むことがないように、チームで対応する体制を整えている。

③ 5月教職員勤務状況について

- ・年度初めの作成・提出文書が一段落する時期、学級が軌道に乗って動くことができくる時期である。4月と比較すると、全体的に時間外勤務時間は減っている。

5. 閉会

次回 令和8年7月17日（金）に臨時合同委員会を開催することを決定し、午後5時33分に閉会した。